

編集後記

(55巻 第1号 2009年1月)

皆様、新年明けましておめでとうございます。今回は年末年始のお休みが長かったので、ゆっくりと新しい年を迎えられた先生方も多かったのではないのでしょうか。

さて、新年にはなりましたが、われわれを取り巻く環境、特に政治・経済はいつそう厳しさを増してきました。「派遣切り」や「内定取り消し」など、そのしわ寄せは弱い立場の労働者にきています。住む場所も食べるものも無い派遣切り労働者が東京の「年越し派遣村」へ押し寄せたこともニュースになりました。医師不足に伴う医療崩壊も益々深刻になり、政府はやっと重い腰を上げそうになっていますが、実効性のある施策を打ち出せるとは思えません。

このように閉塞感でいっぱいの状況ですが、背を丸め暗い顔をしては益々つらくなるだけです。このような時こそ、明るく立ち振る舞う必要があります。何事もポジティブに捕らえ、胸を張っていきましょう。ちなみに、我が家の家訓のひとつは「人間、生きてるだけで丸儲け」です。今年が皆さんにとって良い年でありますよう祈念して、本年最初の編集後記とさせていただきます。

(小川 修)